

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

不ぞろひの玉葱とどき兄元氣

さつき3丁目 伊藤 幸子

特選

叢雲よ今宵な覆ひそ彦星の
渡る大河を時化らすなかれ

中岡本町 池田 祐章

特選

日の本は転ばぬ先の杖が無い

松原2丁目 石井 努明茂

●特選の選評

お兄様は毎年季節の野菜を作って楽しんでいらっしゃる。「今年の玉葱が出来たよ。」と大小混ぜ混ぜの玉葱を振り、吊り下げる形にして届けてくれた。(玉葱は夏の季語。下五の「兄元氣」の言葉の中に作者の頂いたうれしさと喜び、そしてお兄様への尊敬の気持ちが込められていて、素晴らしい一句となった。思わず私の一句、兄弟は今も仲よしさくらんぼ 都紀女

●特選の選評

叢雲とは空を曇らす不穏な雲。「なぐそ」は、「今宵だけは覆わないでくれ」の意、動詞の連用形。「彦星の渡る大河を時化らすなかれ」と、なるほど古典をよく勉強されている。よく少年少女のままの心で、文学が詠まれることが多いが、身の回りにも歌の種はあるものだ。繊細に見つけてみてはいかがだろうか。

表

裏

住所・氏名・壇名
ふりがな
320-8540
宇都宮市役所
広報広聴課

作品
作品への思い
作品への思い
作品への思い

俳句



加茂都紀女先生

入選

待つ人も待たせる人も無き遅日

八幡台4丁目 羽場 京子

玉の汗目指すはひとつ甲子園

野沢町 渡辺 明広

驚狐高青田の風に動かざり

さつき3丁目 野武 俊志

目高の子数へるたびに増減す

横山2丁目 小野 則雄

短歌



藤本 都先生

入選

片陰の道繋ぎ来て無人なる
野菜売場にズッキーニ選る

清原台1丁目 三木 紋子

待ちわびし梅雨入り宣言夏至の空
四葩紫あざやかにして

長岡町 赤羽 スミ

赤とんぼ矢切の渡し風吹けば
すうつと私に秋を連れ来る

中岡本町 中沢 智子

眠れねば眠らぬもよし今夜こそ
樋口恵子の「老いの上機嫌」

下栗町 大塚 榮子

川柳



佐藤隆久先生

入選

ワンとしか言えない者に愚痴を言い

雀の宮6丁目 増淵 和子

透析のベッドの白き身にしみる

築瀬町 中島 栄美子

物価高財布は軽く足重く

中戸祭1丁目 阿部 寿美江

菩提寺の経が聞える千の風

不動前2丁目 山中 ヒロ子

俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市HPをご覧ください。



▲市HP